

中齋塾東京フォーラム
平成 30 年度 第 7 回講話

平成 30 年 7 月 14 日
於 湯島聖堂

最初に「十牛図」の本・資料を回します。天風先生の解説は非常に分かりやすいのですが、学者が解説した本は分かりにくいです。しかし、見るべき資料、参考になるものが細かく書いてあります。さらに詳しく知りたいという方はこの中でご覧になりたいものを見つけてください。

紹介書籍

『十牛図』上田閑照・柳田聖山著 ちくま文芸文庫

『十牛図・自己発見への旅』横山紘一著 春秋社

国井さんからお土産を頂き有難うございます。話を聞きながら食べるのは悪くはない、話をしながら食べるのも悪くはない。頂き物をすぐ口に入れました。この中にダイエットをしたいという方おられますか。

いろいろな本を読み最近私が感じていることは、食べ過ぎということです。考えれば縄文時代にさかのぼります。縄文時代は食べ物がないから食べ物を見つけたらすぐに食べて体の中に脂肪で蓄えるわけです。今回のタイの洞窟に閉じ込められた少年たちも天井から落ちる水を飲みつつ自分の体に蓄えた物で生き延びている。日本人の場合は縄文時代から考えて、木の実を採り海藻を拾い貝を拾う。採取して生き延びていた。それが日本人の DNA の中にしっかり入っているから、食べた次は次の餓えの時代に備えて一生懸命に体は DNA の働きによってエネルギーを蓄える。体の中の脂肪です。前回の災害でつくづく感じたことは、移動中も飲み物と食べ物は持っておくとよい。私は今日ここに来るときには飲み物は持ってきました。暑いからだけではなくて飲み物は持っていたほうがよい。食べ物はお菓子ですけれども持っています。いつ何時、災害が起こるか、動けなくなるか分からない。自宅や会社には備蓄があるとは思いますが、出掛ける時は食べ物、飲み物を持っていないですよね。ほんの少々でいいから持っておくとよいと思う。

それで肥満になることはしょうがないです。縄文時代から人間に摺り込まれた DNA に従っているから、これは太って当たり前です。そこに人間としての知恵、理性が加わって理性が勝ってくると、これは DNA との対決である。要するに白い砂糖は悪魔の食べ物だとか、自分で食べて決めればよいのです。ベースになるものは、自分でこれは良いなと思うものを選んでやっていけば、だいたい当たります。

ちょっと脱線をしたのは、頂き物を皆さんの目の前で食べました。その理由は、食べたということは縄文時代から日本民族に摺り込まれている DNA のなせる業。理性でこういうことだと理解して食べました。仮に、いま災害が起きて生き延びるときに、あれ食べておいたからなんとかなったという話があります。とっさに良いと思って口の中に入れることは良いけれど、たくさん食べることは駄目です。美味しいと思ったら皆に別けなければ駄目です。

恒例の質問

・半年過ぎましたから、7月に入って自分にとって良い日が続いているなど思う方どうでしょう。

念押しをします。客観的に考えないで主観で考える。7月1日から昨日まで悪いことが繰り返して山あつたとしても、今朝がた起きた時にとっても気分がよかったら、前のことは全部なしです。主観です。主観で良い日が続いたなど一瞬思ったら手を挙げればよいのです。一つ一つ事実を考えてみて、だから良い日が続いたなんて思うことはなし。主観です。

・それから嘘も同じです。7月に入って嘘はついてないと思う方。

7月1日にとんでもない大嘘をついたとしても、今はもう救済されるから。くれぐれも客観的に判断しないでください。主観です。

・今月に入って有難うと言い、有難うと言われることが結構多かった。

・健康法を実践している方。

やっぱり物忘れというのは、自分の体が順調にまわっているときにはあまりおきません。どこかが不足すると起きてくるなと思います。自分の生活リズムを整えておくのがよいと思います。

・それから昨晚寝る時は、どうですか。今日は良かったな、気持ちよく眠れそうなんて思って眠りましたか。

今、手を挙げた方または挙げない方でも、現在進行形で今日は良かったなと思って寝たわけですね。そうすると明日も良かったな。過去形で良かったと思って寝た方はどうでしょうか。

これは脳をそのように訓練するのです。「十牛図」で申し上げますけれども、頭の中をそのように考えさせるのは騎牛帰家かな。私は脳というものは騙されやすいと思いますけれども、どうでしょうかね。

甘い物を食べたら美味しいと思うのは便宜的なものです。私は最近、甘い物を食べて美味しいなと思うことは錯覚だと感じるようになりました。だから脳というのは騙されやすい。意識的に脳を騙せばよいのです。騙すという言葉が悪ければ、脳を自分の理性でコントロールしてみたら、思うようにいくのではという気が最近強くしています。ということで昨晚寝る時に過去形で明日以降のことを考えればいい。ということは死を恐れなくなるのではないか、死ぬということが怖い、恐ろしいと思う部分から少しは変わるのではないかと思います。この質問をずっと続けていますと、その先は何があるだろうと考えだしています。行先を、もうちょっと掘ってみよう。掘り下げてみようと思って見ると、またどんどん世界が広がりだしました。

・今月に入って自分磨きに拍車がかかっている。どんどん自分磨きをしている。

6月8日付の朝日新聞を西谷さんがお持ちいただいて、軽く見させていただいて思ったことは、中国でちょっと面白いなという文章がありました。中国では小・中・大学で儒学を扱うことが増えた。テレビも番組が多くなった。中国の若者の間で意外な現象が出ている。彼らはアメリカ流の服装を着るし映画を好むけれども、深層部分の考えかたは儒学的である。表面的の考えかたはアメリカナイズされているけれども深層面まで辿り、詰めてみると非常に儒学的である。それでここで儒学思想について非常に柔らかい紹介をしていました。

大野さん中国に行かれてどうでしょうか。若者とは話されますか。

大野参与—そういう現象は出ていると思います。若い人たちが、これも学校教育で論語をやっていたり…

そうすると、その学校で教育をしようと思ったのは、誰がいつ頃から始められたのでしょうか。上からの押し付けではなくて自然発生的ですか？孔子の子孫がやりだしたのでしょうか？今度もうちょっと若者を捉まえて宜しくお願ひいたします。

論語の視点（衛霊公第十五 18～22）

【一八】子曰く、君子は能くすること無きを病う。人の己を知らざるを病えず。

「能くすること無きを病う」自分の学びがよく進まないことについては自分で反省をする。「己を知らざるを病えず」中斎塾フォーラムで学んでいる。または他で学んでいる。自分でも一生懸命自分磨きをしている。我ながら偉いな、よくやっていると思うけれども周りには私を認めない。これは何なんだい、困ったものだと思っではいけないという話です。

【一九】子曰く、君子は世を没えて名の称せられざることを疾くむ。

孔子はどうしても現実的だったと思います。孔子は理想の社会をこの世に出現させようといえる力がある人間で、私がそういうことをする前に死ぬようなことはありえない。天が私を滅ぼすようなことはない。私はとても崇高な使命をもってこの世に生れ出たから理想的な社会をこの世につくるだけの責任、義務があり能力もあると思って進んできたけれども、孔子の生涯を考えれば結果は出なかった。それで考えかたを変えて弟子を育成し、あちらこちらの国を理想社会にしようと思ったけれども、出てくる弟子も帯に短し褌に長しということで、なかなか思い通りにはいかなかった。

孔子が「世を没えて名の称せられざることを疾む」は、現実的なので一生懸命お弟子さんたちが学んで世の中に出たら、自分が考えている理想の社会を仕官した国で実践してほしい。それが実現することによって、そのお弟子さんの名前は残るし、教えた人間として自分の名前も世の中に残る。これは必然的な理屈です。必然的な結果であろうと世の中に知られないままで消えてしまうということは、現実の世の中で役に立たなかったからということになる。

私は世の中に役立ちたいと思って願ったが出来なかった。自分の死後、現実にもそういう世の中の役に立つようにしたいものだ。それを別の文章でいっているものが「四十、五十にして聞こえること無ければこれまたおそるるにたらずと」四十、五十で世の中にしっかり名前が出ないと世の中の役に立つようなことは、たぶん一生涯できないよというふうにこれは捉えています。

【二〇】子曰く、君子は諸を己に求む。小人は諸を人に求む。

これも他の編（憲門）でいうと、「古の学者は己の為にし、今の学者は人の為にす」という科白があります。ちょっと脱線します。

「己（おの）が為にし」と読みました。でもこれ「己 おのれ」と読みますね。何で「おのが為」と読むのでしょうか。

古の学者は「おのれが為にし」というのと、「おのが為にし」どっちの語感がいいですか。…半々ですね。有難うございます。

理屈はありません。「己（おの）が人生」というと雅です。和歌とか俳句だとか文化の香が漂うときには、だいたい己（おの）がと読ませています。自分を主張する人は己（おのれ）と読んでいます。日本の歴史を調べてみると、文化の香を感じるものは己（おの）がと圧倒的に読んでいます。「古の学者己が為にし」というのは、自分を磨こうと思ってやる。学びはそうするものだ。ただ「今の学者は人の為にす」というのは、世の中のためでは

なくて自分の名を知らしめたい。自分の宣伝、自己アピールでいたいということですの
で、今の学者は駄目だよということです。大昔も今も変わらない。これはそのまま時事評
論に繋がります。

【二一】子曰く、君子は矜かにして争わず。群して党せず。

君子は厳然として厳めしい感じで己を慎み、人とは争わない。「群して党せず」は、群れ
だから、大勢の人とは交わるけれども群れの中には入らない。

矜持というのが言葉としてある。「君子は矜かにして」のこの矜と持は持つ。今、矜持と
いう言葉は使わないか。誇りを持つとか襟を正すという感覚ですね。

【二二】子曰く、君子は言を以て人を挙げず。人を以て言を廢せず。

これは中斎塾フォーラムでも組織にいるときでも役に立つと思います。もうそろそろ選
挙もありますから選挙でみてもいいです。

君子は判断能力をもっている素晴らしい人だと理解をすると「言を以て人を挙げず」政
治家は選挙のときは良いことを言います。あの人は素晴らしいことを言うから票を入れて
やろうということをしてはいけません。言うことがとても素晴らしいから、あの人を推そ
う、あの人を採用しようとするのは止めたほうがいい。「人を以て言を廢せず」あいつは
日ごろから態度がでかくて氣にくわれないが、良いことを実践している。でも悪人顔をして
いるから選挙の票は入れないということは無しで、良いことを言っているだけではなくて、
実際に実行している。行動している内容を見て票を入れるのがよいということです。これ
メディアは伝えていますかね。

例えば会社で誰か昇進や採用をするときに、会社の中を上手に渡る人がいる。そうする
と、この人がこんな上のポジションまで上がってきているのは、おかしいなと感じます。
よく見ると引っ張る人がいる。世渡りが上手で上の人間に対してゴマすりや上手い人は、
下に対してあまり面倒見がいいとは思えない。どこかで関所を作って止めておかないと危
ないです。よくその人の行いを見て判断をする。とろてん方式で上に行った人がそのま
まひょいっとトップにいくとその会社は最悪です。

この間、みずほ銀行の株主総会に行きました。みずほ銀行は都市銀行の中で一番成績の
悪い劣等生です。どんなことを頭取が話すのかと思って見ていました。そしたら物言う株
主というのは増えていますね。それで株主の質問の中でおやっと思ったことは、事前に調
整して話す人はちゃんとひも付きが喋るけれども、そうでない人もやっぱり喋る機会があ
る。すると前に座っている中で社外役員の大田弘子さんに「経済大臣も歴任したのだから、
この銀行が順調にいくように役目を果たしていますか」と聞いたら、立ち上がって「おあ

しなことは指摘をしているから大丈夫です。ご安心ください」と、そつなく言っていました。あとは新しい社長が4月に就任したので「どういう経緯で社長になったのか教えて欲しい」と別の株主が質問をしたら、それを説明する社外取締役が「我々は毎年きちんと社長候補を選んで人物評価をしているからご安心ください」と。そうですかと質問者は引込んでしまったが、私流に解説すると、毎年ところてん方式で上がってくる社長候補の序列に入った人の身の下を調べて、上に出して喋らせた時にそつなくできる人を選んでいきます。今年はこの人が順番で上がってきたから据えただけのことであって、素晴らしくカリスマ的で会社をよくするから社長に抜擢したということではありません。そんなことはしておりません。ところてん方式で上がった人間で、可もなく不可もない社長を据えましたと聞こえました。そういう表現はしないですけどね。

会員—先生は何故みずほ銀行の株主総会に行かれたのですか。

最近、あちこちの株を買ってしまして、その中でどこに行こうかなと考えて行っています。三洋電気は頼まれて株を購入したけれども、社長が驕り高ぶりだしたのを見て、イオンと同じだと思って株主総会に行くのを止めました。社長の発言を聞いて、今回はどこ見に行こうかなと色々ありますね。世間で色々いうところは見てみたいと思っています。株主総会に行って、この会社の株は持ち続けようかやめようかと思うことは内容重視かどうか。相変わらず総会は上っ面だけでさらっと流そうということが見え見えなのですが、それでも本質は見えてきます。きちんと哲学を持ってそれなりのことを一生懸命、実際に実行しているところはよい。実行してないところは駄目だと思っています。

株の評価の時代で、もうちょっと言っておくと、日本という国は潰れるという前提で、日本の国が潰れたときに生き残る会社。世界的に世のため人のためになるような会社を選んでいきます。日本が潰れても尚且つ生き残る会社という前提で株は持ちました。

時事評論

論語の説明で若干ですが現代が出てきました。そうすると時事評論に繋げなければいけないなと思っていますので、時事評論を言いつつ、今回のテーマである「十牛図」これに触れたいと思っています。

今日の新聞の「初の司法取引、海外贈賄、企業協力で免責」とか書いてあるが、一面トップに出ていました。見ると社員は罰するけれども会社は罰しないという。瞬間的に見ると、田中角栄さんの時代にできていれば、司法取引をして角栄さんは逮捕されずに済んだなと思いました。佐藤栄作のころの疑獄事件だって似たようなものです。

今の時代この司法取引を欲する政治家がいるのではないか。作りたいということは、そ

の恩恵を被りたい人がいるから作るわけです。カジノを進めるのだってマネーロンダリングしたい人がいるのでしょう。この間の話ですよ。だから一面トップに何か仰々しく載っていることは、これによって誰が利益を得るかを考える。特に法律を作るのだったら、その法律を作ることによって得する人は、利益を得る人は誰だということです。やっぱり今の時代は損得で動いていますから、そういうことを考えるとよいと思います。

それで氣になったら、実現すべく努力した政治家は誰だかを調べればいい。もしその政治家では力不足だと思ったら背後に隠れている政治家は誰だと追っかけていったら面白い。即座に得はしなくても、それによってゆっくりだけ恩恵を被る人たち。または、それができたことによって困ったと思う人たち。ここらへんを調べればいい。そういう特集もやっぱり新聞でやってくれるといいなと思います。

ちなみに損得の話のところで、上場企業の役員報酬 1 億円以上が 5038 名と書いてあります。1 人あたりの最高額はソニー会長の平井一夫さんが役員報酬 27 億 1300 万円で昨年の 3 倍になった。でも日本の場合で面白いのは日産です。ゴーンさんのお給料とその他のお給料どうしてあれだけ違うのかと。どうしてそれをまた日本の国は認めているのかという氣がしてなりません。

あと意識的に私が思っていることは生活保護のお金って実質いくらなのか。ご存知の方いませんか。生活保護でひとり実質いくらか。

会員一間違っただけで 6 万円だったと思います。

実質と付けました。実質ということは、お医者さんのお金は関係ありません。要するに何々関係とつけていけば 24~5 万はいくのではないかと思います。少なくとも 20 万以上にはなります。生活保護の方は衣食住だけでも 20 万以上はいくと思います。私の大体の計算では生活保護 22~3 万です。年金はいくらですかね。そういうことを考えると日本の国は非常に不平等だなと思います。

この間、政府の基本方針が「骨太の方針」ってまた言っているけれども、何のことはない悲鳴です。前に言ったかもしれませんが、日本は人手が足りないわけです。ただ極論でいきますと 1 億 2000 万人以上の国民がいる日本という国は人数が多すぎるから半分ぐらいの人口が現時点で適正ではないかと思うのです。6000 万人ぐらいまで落ちる。世界史的にみて日本が一番理想的だった国家がある。江戸幕末の頃です。リサイクル社会で自給自足をして、豊かではないけれど心が清い素晴らしい社会。それで人口が 3000 万人ぐらいです。6000 万人が適正規模だから、その頃の 3000 万人とはちょっと内容が違うけれども、少なくとも今の人口の半分ぐらいまで落ちて然るべきだということが、もしかすると自然の摂理にあります。自然の摂理という言葉をあえて使うとそういうことです。自然の摂理ということは、人間が少しおかしくなって自分たちで殺し合いをして、いわゆる戦争、核戦争。自分たちで殺し合いをして人口が減る。それから自然災害が起きて減る。全体で人口が半

分ぐらいになる。当然ここにいる人も死んでしまうという状況が、私は近々というのは数百年の単位とか、そのぐらいで考えています。

そういうことを考えると、今の日本の場合は人が減ることは明快だから、女性も年寄りも働いて、ロボットや人工知能を使いましょうと政府はいう。このような対策は弥縫策に過ぎないと私は思っています。そうすると、お年寄りの方や女性の方はお金の制限がありますね。年金を貰っている人が同額働いた場合は当然年金カットです。そうやって見ますと、生活保護の人は仮に 20 万円だと年間 240 万円貰えます。年金の方は 17 万円。そうすると生活保護の方がお金としては多い。それで生活保護の人に負けないために年金の方が一生懸命に働いたら、けしからんと言ってカットされるでしょう。働け働けと言いながら働いたらその分カットする社会だから、何と酷い国を今の政治家、官僚は作っているのかと思います。

それで初の司法取引は日本の企業やめたいと 37 面にありますが、これが二つですね。だけど企業というのはみんなここでいうと「君子は言を以て人を挙げ。人を以て言を廃せず」でみれば、企業はひとつの組織として何をやっているのか。三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券は国債相場を不正操縦で主幹事外しとか。悪いことをする企業が多すぎるが、罰則が軽すぎる。

介護の離職、働き盛りが苦悩している。受け入れ施設が不足している。それで介護従事者のお給料を上げるために政府は一所懸命に努力して一人あたり 3 万円あげますとか 5 万円あげますとか言いますが、嘘つきだと思います。何故か。介護の人たちが増えないのは給料が増えないからだとか政府が一生懸命お金を増やそうとポーズは示す。細かい数字は出ないけど、仮に 100 人社員がいて一人あたり 3 万円給料を上げましょう。新聞を読むと、その企業に 300 万円入るように、一瞬そう受け取れるような表現が多い。実際に企業や介護施設からすると、色々な条件や資格が必要。例えば年がいくつ、働く時間がどれぐらい。どういう資格を持っている人が何人か。企業は指定されている資格を持っている人を何人抱えてなければいけないとか。色々な条件をたくさん付けて、その針の穴をくぐるような条件を全部くぐり抜けた優秀な企業だけが一人 3 万円の補助金を出しましょうとありますが、だいたい最初から条件が多すぎて手が挙げられない。それに政府が打ち上げた条件の半分もあればそれは相当優秀な会社。だから知らない人が読むと政府は努力していると思う。これだけ嘘をつく政府というのは信用できるわけがない。それぞれの業界がその業界の中だけがそうなのかと思うけれどもそうではない。自分たちの業界の部分だけ、自分が関係している団体だけでも、ちょっと違うでしょう。

今回の「洪水避難所足りず」も今日の新聞です。何か問題が起きると、こういうことが出る。15 府県で死者が昨日の段階で 188 名という状況です。これもこういうふうになると騒ぐが一過性。ただ中斎塾フォーラムで関係している地域で岡山県高梁市があります。山田方谷に関して、中斎塾フォーラムでも何回か訪問しています。そこの方たちとやっと連絡がとれたら、岡山県は県庁が大丈夫だったそうです。ただこういう状況だから生活物

資だとかお金が必要になるはずだからと、そこまで言ったら、ちょっと当たってみますの
でお待ちくださいということです。今は返事待ちです。それでなんとか大丈夫ですと言っ
たらそのままになるけれども、やっぱり何かの形で応援いただきたいとあったら、いつか
の水害と同じように義援金を少し募らせていただきたいと思います。

テーマ「十牛図」

前回のおさらいをしながら話すと、朝起きた時にどういうことが頭に浮かぶか。定年退
職を迎えた方が朝起きた時にやりたいことが出てくる人と、朝起きて今日は一日どうやっ
て過ごそうか、やること無いよという人。

やりたいことが噴出する人は上。やりたいとかやりたくないは別として、やることがあ
る人は中。何にも浮かばない人は下。どうぞお考えください。ちょっと余分ですけど、最
初は上・中・並と書こうと思ったけど、並じゃなくて下のほうがよりはっきり分かるだろ
うと思って言いました。

「十牛図」の「尋牛」は、牛を尋ねる。これは何か手に入れたい目標があったら、こう
いう事をやりたい、こういう事をしたい。結果として、こういう物を手に入れたい。何か
を得たい。

次の「見跡」は、牛の跡を見つけた。これは良い本を見つけたという時には二番。

三番の「見牛」は、何となく悟り、わかったという時は見牛。

四番「得牛」は、自覚した。悟った。自分は悟った嬉しいと思うときは得牛。すぐ無く
なっちゃいますから得牛。

五番「牧牛」わかったけれども、続けていくことは大変だと自覚する。

六番「騎牛帰家」は、いま楽しんでいる人。心の中に不平不満が無い。これは「らしく
なされ」という言葉でいわれます。

七番の「亡牛存人」は、「晴れて良し曇りて良し富士の山 もとの姿はかわらざりけり」
これは心の中に苦しみはない、楽しみ。そういうものもない。生死超越の段階に入っ
てきている。これ以上素晴らしいという人生を欲しいとは思わない。

八番が「人牛俱亡」は、円。まるい状況。迷いもなければ悟りもない。一から八までが
人間の煩悩の世界です。

九番が「返本還源」は、よく使います。「染めいだす人はなけれど 春来れば 柳は緑 花
は紅」自然の摂理というのはこれでいえます。

十番「入廬垂手」は、嘘はつかない、約束は守る。世のため人のためと尽くすことを本
気で思う人。本気で実行する人。なかなか難しゅうございます。お互い努力をしてまいり
ましょう。以上で終りにします。